

10

Recent Activities in Research of Electrical Steel

(Michiro Komatsubara)

:

10

1995

2

Synopsis :

Recent Activities in Research of Electrical Steel

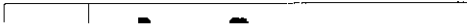


要旨

この10年間の電磁鋼板研究において、1995年に終了した電磁鋼板の水島製鉄所での一貫製造化は重要な位置を占める。すなわち、数々の新規設備の導入を成功させるため、工場から依頼される多くの課題に対し研究部門は的確に答えていく必要があった。このため、電磁鋼板の成分・析出物・結晶組織・集束組織・鋼板表層組織につ

小松原 道郎
Michiro Komatsubara
技術研究所 電磁鋼板
研究部門長・工博

形成機構に関する新規理論の構築が進んだ。また、磁区細分化処理やモデルトランス、モデルモータなど応用磁気学的な研究も進んだ。こうした電磁鋼板研究の進歩により、電磁鋼板の品質の向上と各種新製品の開発に貢献できた。





の関係については従来より活発な議論がなされてきた。

た。EI コアやモータの小型化のニーズに適合する。

その上、問題点を解決。そのために、三相誘導モータおよびインバータ (6) 高取捨離後低鉄損無方向性電磁鋼板。

モータ、DC ブラシレスインバータモータなどをモデルモータとし

「50RMA300, 35RMA250」

高取捨離後低鉄損無方向性電磁鋼板